

関西保護者会 ニュースレター

はじめに

新たなスタートを迎える新学期

今学期は、LFIKにとって新たなステップとなるスタートです。新校長のLena氏を迎え、学校には新しい風が吹き込まれています。一方で、これまでの校長先生方が進めてきた取り組みを引き継ぎながら、さらなる発展を目指しています。

日々の学校運営においては、APEK運営委員会が校長および教育チームと連携し、いくつかの重要な課題に取り組んでいます。具体的には、生徒の安全とウェルビーイングの向上、教育課程の発展、そして学校と地域社会とのつながりの強化です。

今回のニュースレターでは、現在進めているこれらの取り組みと活動についてご紹介いたします。

その目的はシンプルです。これからの学校をつくるために、現在どのような取り組みが進められているのかを、皆さまによりよく理解していただくことです。



現在進行中の取り組み

生徒の安全とウェルビーイング



生徒の安全とウェルビーイングは、引き続きLFIKにとって最優先事項です。昨年度から着任した学校看護師のRomane Avignon氏により、日々の生徒へのサポート体制が強化されました。今年度着任された新校長のLena氏のもと、この取り組みのさらなる継続・発展を進めてまいります。

- **校舎への出入りの管理強化**
校内にいる人の記録・把握をより徹底し、生徒にとって安全な環境を確保します。
- **禁煙・携帯電話の使用禁止の環境**
これらのルールにより、生徒の学習に適した環境を維持します。
- **清潔で整理整頓された校内環境**
清掃、衛生管理、施設の維持管理、整理整頓について、特に注意を払っています。
- **施設・設備の管理**
運営委員会は、校舎および体育館の維持・改善に取り組んでいます。すでにいくつかの活動を開始しており、市役所と学校施設の維持管理における双方の責任範囲を明確にするための協議や、一部設備についての見積もり依頼などを行っています。

特に体育館については、全面的な改修・改装プロジェクトについて検討を進めており、将来的にはLFIKを象徴する施設の一つとなることを目指しています。

生徒と家庭のために進化する学校



今年度は、ご家庭の負担を軽減し、生徒に提供する教育課程を発展させ、LFIKの対外的な開放性を高めるため、複数の取り組みを進めています。

- **通学費の補助**
通学交通費の補助：6歳から高校3年生までの児童・生徒は、公共交通機関の運賃割引を利用することができます。割引証明書をご希望の方は、LFIK事務局 (secretariat@lfiykoto.org) までお問い合わせください。
- **LFIKの認知度向上に向けた広報活動**
LFIKでは、OVNIやZoomなどの情報発信を強化し、これまでのネットワークだけでなくとどまらず、より多くの方に学校を知っていただけるよう取り組んでいます。
- **語学教育のさらなる充実**
日本語教育については、今年度、初等部に日本語国際セクションを新設し、新たな段階へ進めました。これに加えて、英語および日本語によるEMILE (外国語を通して教科を学ぶ教育) も実施しています。たとえば、日本語を使って音楽などの教科を学ぶ取り組みです。今後数年間で、このコースを中等部にも拡大することを目指しており、将来的にはフランス・バカロー国際課程 (日本語セクション) への道を開くことを目標としています。

英語コースについても、引き続きこの取り組みの中心に位置づけています。質の高い英語教育を通じて、子どもたちにできるだけ多くの将来の選択肢を提供することを目指しています。語学教育については、下記の「インタビュー」欄で、語学教育コーディネーターのドコ先生の考えをご紹介します。

LFIKを地域に根付かせる



10月11日 (日) 午前8時30分から、LFIKの校庭で、有明自治連合の大運動会が開催されます。開会式のハルードから始まり、午後半までは、個人競技やチーム競技など約10種目が行われます。「スポーツが得意じゃないと参加できない」ということはありません！

競技は指導者なく、子どもから大人まで誰でも参加できます。何よりの目的は、みんなで楽しく、素晴らしい時間を共有し、LFIKのチームカラーを応援することです。

幼稚園児から高齢者まで、65歳以上の方が参加できる競技も用意されています。

競技に参加するもの、選手を応援するもの、雰囲気を楽しむだけでも大歓迎です。

この一日は、地域のさまざまな団体が協力して準備・運営する、大切な地域交流イベントです。世代、言語、普段の近所付き合いの違いを超えて、みんなが集まり、笑い、交流する素晴らしい機会でもあります。

LFIKのご家族にとっても、普段とは違った形で地域や地域の住民を知り、私たちがつなぐ絆を育む貴重な機会です。

ぜひ近所の皆さんと一緒に参加し、選手を応援し、そして何より、競技に参加してください！お早めにお申し込みください。申し込みはこちらから。

LFIKの未来をつくる



LFIKでは、今後もフランスの関係機関からの緊密な支援を受けながら、学校の将来に向けた取り組みを続けていきます。

- **AEEF (フランス在外教育) との協定を締結・更新**
この夏、AEEFとの協定が締結・更新されました。これにより、AEEFとのこれまでの取り組みを継続し、LFIKが協定校ネットワークの一員であり続けることが可能になります。また、AEEFから派遣される校長として、Lena氏を迎えることもできました。
- **フランス関係機関との連携**
AEEFとのつながりにより、学校のプロジェクトや発展を支援してくださっているフランス側の機関からの支援も継続されます。その結果、LFIKは、日本の市役所や自治体などとの交渉においても、より強い立場で取り組むことができます。現在、学校の賃貸契約を長期的に維持すること、学校敷地全体を利用できるようにすること、そして大阪への分校設立プロジェクトの候補地を視察することなどについて、日々協議を進めています。現時点で候補地は6か所確認されており、今後、詳細な視察を行う予定です。
- **段階的に進める学校の発展**
このプロジェクトは、LFIKの将来、発展、日本社会における学校の位置づけについての、より大きな検討の一環です。同時に、フランスの教育ネットワークとのつながりも維持していきます。



学校を見つめる : LFIK英語・経済社会科学 (SES) ・EMILE担当教員であり、語学部門の教育コーディネーターおよび進路指導担当 (PRIO) を務めるドコ先生の声



ドコ・マリです。ハノイのフランス人学校で10年間勤務した後、2022年に京都国際フランス学園 (LFIK) に着任しました。英語、経済・社会科学 (SES)、そして外国語を通して教科を学ぶEMILE (内容言語統合型学習) を担当しています。また、語学部門の教育コーディネーターおよび進路指導担当 (PRIO) も務めています。

しかし、最初から教員を目指していたわけではありません。ルクセンブルク大学で英語による経済学の学士号を取得した後、社会学の修士号を取得し、その後、海外のフランス人学校で教えるための教員資格を取得しました。さまざまな機会との出会いを重ねる中で、最終的に教員という道にたどり着きました。だからこそ、生徒たちにはよく伝えたいです。「チャンスを自ら生み出すこと、それに気づくこと、そしてつかむことを大切にしてください。」

京都に着任した際、私に与えられた使命は、本校の語学教育に明確なビジョンを持たせ、特にEMILEを発展させるとともに、英語と日本語の学習プログラムを充実させることでした。今年度は初等部に日本語国際セクションを開設し、新たな一歩を踏み出しています。そしてすでに、その先の展開についても検討を進めています。

しかし、私が何よりも大切だと考えているのは、それぞれのご家庭が、お子さまの将来についてどのようなビジョンを持っているのかをしっかりと考えることです。

今後も数年間、日本で生活する予定なのか、フランス、日本、あるいは他の国での大学進学を考えているのか、どの学習コースを選ぶかは、こうした将来の展望とともに、一人ひとりの生徒の力、興味、意欲を踏まえて考えることが大切です。

そして何より、日本語国際セクションを選択しないからといって、日本語の学習を諦めるということではありません。すべての生徒が引き続き日本語を学び、実際に使う機会を持っています。特に日本語によるEMILE (内容言語統合型学習) を通じて日本語に触れるほか、さらに学習を深めるためのさまざまな選択肢も用意されています。

ですから、目指しているのは、生徒たちを決められた枠にはめることではありません。それぞれのご家庭と一緒に、一人ひとりに合った学びの道を築いていくことです。

日本語国際セクションは、生徒たちに新たな選択肢を提供するものですが、同時に大きな努力と継続的な取り組みも求められます。そのため、すべての生徒の将来の目標に必ずしも適しているとは限りません。大切なのは、自分がどこを目指しているのかを考え、その目標に向かって一歩ずつ道筋を築いていくことです。

同じように、英語の学習コースでは、確かな英語力を身につけるとともに、英語圏の文化や文学への理解も深めていくことを目指しています。そして将来、日本の大学や英語で学ぶ国内外の大学・教育機関への進学に必要な語学資格にも対応できる力を育てていきます。

私にとって、語学教育はLFIKの大きな強みであり、他のインターナショナルスクールとの差別化を図ることも、生徒たちの将来の可能性を広げる重要な柱です。LFIKではフランスの高等教育への道が開かれています。それだけでなく、日本や世界の大学への扉もさらに広がっていく必要があります。だからこそ、語学教育コーディネーター、そして進路・情報担当 (PRIO) としての私の役割です。生徒たちの将来に向けて、できる限り多くの可能性を提供したいと考えています。

そして何より、私たちが今案じているものを一時的な取り組みで終わらせず、長く続くものにしていきたいと思っています。しっかりと土台を築くことで、一人ひとりの生徒が自分に合った道を見つけ、将来できるだけ多くの選択肢を持ち続けられるようにすることが大切です。

私の考えは、とてもシンプルです。

生徒たちができる限り多くのチャンスを与え、将来への扉ができる限り多く開いていくことです。

—— ドコ・マリ

今後の予定

今後の注目イベント！

- 10月2日**
LFIKに隣接する広場の草抜き
午前8時30分から学校の軒下で集合し、必要な道具を準備します。作業後は、みんなで飲み物を片手に一息つきながらリラックスしましょう。
- 10月11日**
運動会
ぜひ今から参加申し込みをしてください。競技に参加するもの、雰囲気を楽しむだけでも大歓迎です。LFIKで8時30分から午後半までは開催されます。
- 10月31日**
有隣祭り (地域の大きなお祭り)
日本の伝統やさまざまなパフォーマンスを楽しんだり、パサーに参加したりできます。会場はLFIKで、16時から19時30分までです。
- 11月14日**
APEK 通常総会
午前9時からLFIKで開催します。運営委員会から、現在進行中のプロジェクトの状況、財務報告、決議事項などについて説明します。各ご家庭は、必ず本人が出席するか、代理人を立ててください。代理出席の場合は、委任状をご用意ください。

コミュニティへの呼びかけ、皆様の協力が必要です！

10月11日 (日) 地域運動会：参加者募集

当日、暑さが厳しい場合には、校庭にテントを設置して日陰をつくる予定です。お祭りを楽しく来られる方は、ぜひ開始時のテント設営と、終了後の片付けにご協力ください。

ボランティアチームに参加します

今回で紹介した取り組みは、私たちが行っている活動のほんの一部です。ご質問やアイデアがある方、あるいは私たちの活動を手伝ってくださる方は、ぜひ気軽に声をかけてください。ぜひ私たちと一緒に、この活動に参加してください！運営委員会の選挙は11月中旬に行われます。さらに積極的に学校運営に関わりたいたいとお考えの方には、私たちが日々どのような活動をしているのか、また、これらの重要な役割がどのような意味を持つのかについて、詳しくご説明します。

また、このニュースレターを通じて、3年間にわたり運営委員会の活動に尽力し、オーストラリア・シドニーへ戻ることになったRomain RALLU氏に、心から感謝を申し上げます。新たなプロジェクトでのさらなるご活躍をお祈りしています。

APEKおよびLFIKへの皆さまの継続的なご支援とご協力に、心より感謝申し上げます。皆さまの関心と参加が、私たちのコミュニティを支えています。ニュースをチェックしてくださること、活動に参加してくださること、そしてそれぞれの形でLFIKを「ともに学び、ともに成長できる場所」にしてくださっていることに、心から感謝いたします。

運営委員会

APEK 運営委員会では一年中いつでも皆様のご相談を承っております

皆様に奉仕することを使命とする熱心なボランティアとして、私たちはLFIKコミュニティ全体のために、自らのスキルと情熱を注いでいます。

理事長
Xavier CARCELLE
apek.president@lfiykoto.org

会計
Federico ZYLBERGLAJT
tresorier@lfiykoto.org

書記
Kae DEBAYLES-OKI
secretaire@lfiykoto.org

Grégory PURET
gpuret@lfiykoto.org

Agnès CATTELAN
acatteLAN@lfiykoto.org

Glen BEDJANIAN
gbedjanian@lfiykoto.org

Julien BOGAERS
jbogaers@lfiykoto.org